



## 概要

---

- [Cisco Spaces : スペースの使用状況アプリケーション \(1 ページ\)](#)
- [概要 \(1 ページ\)](#)
- [ライセンス要件 \(1 ページ\)](#)
- [前提条件 \(2 ページ\)](#)
- [スペースの使用状況アプリケーションの操作 \(2 ページ\)](#)

## Cisco Spaces : スペースの使用状況アプリケーション

Cisco Spaces : スペースの使用状況アプリケーションは、物理的なスペースの使用状況に関する履歴情報を提供し、スペースを最適化するのに役立ちます。これらのインサイトは、スペース内の建物全体のネットワーキングおよびコラボレーションインフラストラクチャに統合されたセンサーを通じて取得したデータから得られます。

スペースの使用状況アプリケーションを使用すると、キャンパス、建物、またはフロア内の任意のスペースの占有率と密度を表示できます。この情報には、人数、ピーク時の使用状況、物理的なスペースでの滞在時間などのデータが含まれます。

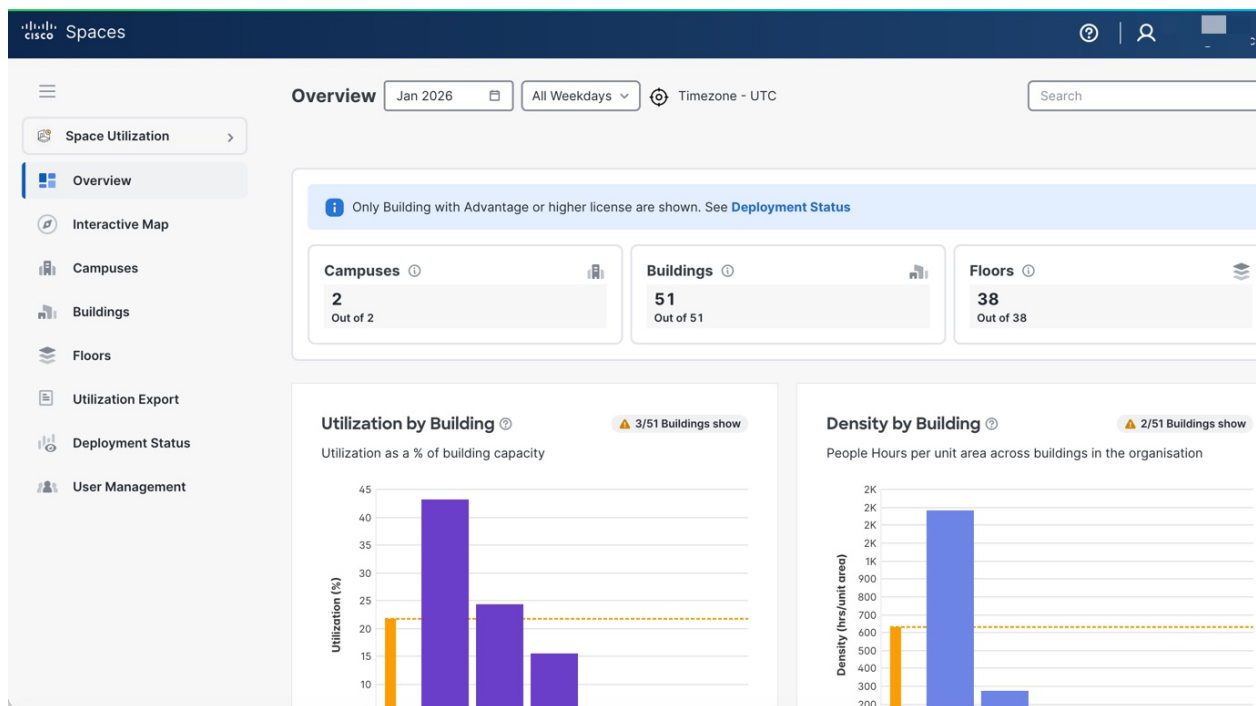
## 概要

このセクションでは、キャンパススペースがどのように使用されているかの概要レベルのスナップショットを示します。アクティブな Advantage レベルのライセンスがあるキャンパス、建物、フロアの数などの主要な使用率メトリックと、建物全体のキャパシティ使用状況が強調表示されます。スペースの可用性をすばやく把握し、使用率のトレンドをモニターして、展開またはデータの可用性に注意が必要な可能性のある場所を特定できます。

## ライセンス要件

スペースの使用状況アプリケーションは、Cisco Spaces ACT および Cisco Spaces 無制限ライセンスに関連付けられています。

図 1: スペースの使用状況アプリケーション



## 前提条件

Cisco Spaces 展開が次の要件を満たしている場合は、スペースの使用状況アプリケーションを使用できます。

- Digital Maps Pro バージョンを実行し、会議室を定義する必要があります。
- Webex デバイスを使用して占有率をモニタリングする場合は、これらのデバイスを Webex Control Hub と統合する必要があります。
- Wi-Fi メトリックとインサイトを収集できるように、さまざまなワイヤレスネットワークで動作するよう Cisco Spaces を設定する必要があります。

## スペースの使用状況アプリケーションの操作

[Overview] ウィンドウは2つの部分に分かれています。上部には、ネットワーク内の [Campuses]、[Buildings]、および [Floors] の数と、豊富なマップが統合されているこれらのスペースの数をすばやく表示するアイコンがあります。

下部には、建物の使用状況（1日の平均占有率（%））、密度（単位面積あたりの人時）、および部屋の使用状況（勤務時間中の時間（%））の傾向がグラフで表示されます。これらのグラフでは、ネットワークバーをクリックすると詳細なネットワークビューに移動できます。

このアプリケーションは、コラボレーションデバイス、ポータルビーム、PIRセンサー（Thingsee や Moko など）といったさまざまなソースからの稼働率データレポートをサポートします。

さまざまな期間のデータを表示するには、[Overview] ウィンドウの上部にある月や日のドロップダウンメニューで選択内容を変更します。

検索ボックスを使用して、定義された [Location Hierarchy] に従ってロケーションを検索できます。

### [UI updates]

これらの強化によりユーザーナビゲーションが改善され、より直感的なインターフェイスが提供されました。

- **ダイナミックページタイトル**：ページタイトルとフィルタ処理が、選択したビューに基づいて自動的に更新されるようになりました。特定の建物またはフロアをすばやく識別し、どのフィルタが適用されているかを確認できます。
- **[Location] ドロップダウン**：[Location Selection] ドロップダウンリストが、使用の観点からウィンドウの右側に再配置されました。このフィルタ処理がビルディングビューとフロアビューの両方で使用できるようになり、場所をより効率的に切り替えられるようになりました。

## スペースの使用状況アプリケーション ベータ版 UI の機能

### ヒートマップ

スペースの使用状況アプリケーションに**ヒートマップ**が導入され、過去の使用状況の傾向と物理的スペースの使用率を可視化する新しい方法が提供されました。ヒートマップは3D デジタルマップの上に直接表示され、占有密度と使用パターンを没入型の方法で空間的に理解できます。

### 主なポイント

- **ヒートマップの可視化**：フロアレベルでの過去の占有密度を色分けして視覚的に表現し、3D デジタルマップ上に表示して、時間の経過とともにフロアのどの領域が最も利用されたか、または最も利用されていないかを把握できるようにします。
- **多次元分析**：各日、各曜日、または1日における各時間帯のヒートマップを表示して、傾向を把握し、さまざまな期間における占有パターンと使用傾向を分析します。

次の利点があります。

- 過去の使用率の低いゾーンと使用者の多いゾーンを特定します。
- 情報に基づきスペースの再配置または再設計を決定できます。
- 3D デジタルマップを使用した直感的なマップベースの表示により、従来のグラフ表示を補完します。
- 空間的インサイトを得てワークスペースの配置を最適化し、訪問者の体験を向上させます。

## インタラクティブマップ

スペースの使用状況アプリケーションに **[Interactive Maps]** 機能が提供され、キャンパス、建物、フロアなどの場所をグローバルマップ上にすばやく直感的に地理的表示できます。この機能では、ダイナミックマーカーと色分けされたクラスターを使用して、占有率と使用率のメトリックが表示されます。これにより、迅速なインサイトを複数のレベルで得ることができます。

### 主なポイント

- ダイナミッククラスタリングにより、グローバル、キャンパス、建物、およびフロアレベルの視点をシームレスに切り替えられます。
- 人数、滞在時間、使用率などの主要なメトリックを色分けされたマーカーで表示します。
- スマートマップコントロール、ズーム、および情報パネルによりスペースを迅速に見つけられます。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。